

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーの取り扱いについて

①2014年12月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL:03-3817-5666)にて承ります。

②それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11

TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539

2016年11月号

特集

開業助産師の実践する助産ケア 後輩に伝え、残しておきたいこと



開業助産所で実践しているケアを、妊娠前から産後まで、できるだけたくさんとめました。大きな病院では同じように再現できなくても、その助産ケアの根底にある意図をくみ取ることが大切。地域や施設を超えた、先輩助産師から後輩助産師たちへのメッセージです。

2016年10月号

特集

周産期救急で 助産師ができること



正常な分娩経過をたどっていても、妊娠婦には常に急変の危険性が潜んでいます。その徴候を見逃さず、適切な初期対応、医師との連携ができるよう、必要な知識・技能の習得が助産師には望まれます。周産期救急において、助産師が果たせる役割について考えます。

2016年9月号

特集

オキシトシンと 妊娠・出産・育児の関係



オキシトシンは、子宮収縮、射乳のほかに、分娩時の助産ケアや育児にも影響すると言われています。助産師がオキシトシン分泌を意識して妊娠婦にアプローチすることはとても大切です。妊娠・分娩・育児期の、オキシトシンとの上手な付き合い方をまとめました。

2016年8月号

特集

助産師が知っておきたい 妊娠期の「運動」



妊娠期の運動についての知見や情報を整理するとともに、そのメリットや留意点などを解説します。また、助産師によるマタニティビクス、マタニティヨガ、マタニティスイミングの実践を報告。さらに、産後ケアにおける運動の活用についても紹介します。

2016年7月号

特集

助産師教育で伝えたい、 大切な助産ケア



実習施設の確保が困難、ローリスク妊娠婦の分娩が少ないなど、教育機関では助産学実習の実施に苦労しています。しかし、理論と技術を統合する場である助産学実習はおろそかにできません。諸課題の解決策の提案と、助産ケアの本質を考えます。

2016年6月号

特集

次世代につなげる妊婦の栄養指導 厳しい体重増加制限のもとらす危険性



出生体重が小さいと、成人後に生活習慣病を含めた成人病や精神疾患を発症するリスクが高いことが明らかとなっています。出生体重低下の流れを阻止することは、社会全体で取り組むべき日本の最重要課題です。改めて、妊婦栄養について考えてみませんか。

2016年 特集

5月号 胎児心拍数モニタリングを極める 見逃してはいけないCTG波形

4月号 制度の根底にあるもの・期待されること アドバンス助産師の誕生

3月号 遺伝カウンセラーとは異なる 出生前検査における助産師の役割

2月号 新生児の疾患とその徴候 見逃してはいけない異常徴候

1月号 70巻記念号 『助産雑誌』と私の歩み

2015年 特集

12月号 パースレビューの心得

11月号 新しい視点で保健指導を変えよう！